



## 愛媛大学地域協働センター西条開設

年に一度、織姫と彦彦（彦星）が再会する七夕の日、西条市でも大きな連携が前進しました。念願であった西条市で初めての大学拠点となる「愛媛大学地域協働センター西条」が開設されたのです。キラ星のごとく輝く企業群と特徴ある優秀な高校が存在する西条市ですが、その間に位置する大学などの高等教育機関がないという寂しい現実もありました。そのため、市民が大学キャンパスや大学生の存在を身近に感じることができると松山市などの環境に比べ、西条市では高校と大学、そして、大学と企業の間、天の川ともいふべき隔たりが存在していましたが、このセンターの開設により、それぞれをつなぐしっかりとした架け橋が生まれたように感じます。

西条市と愛媛大学は、平成25年11月の連携協力協定締結を皮切りに、大学のセンター設置に向けた取り組みを急ピッチで進めてきました。

それから3年足らずの期間で開設に至ったのは、愛媛大学をはじめとする各機関の方々のご尽力の賜物です。当センターには、羽藤堅治センター長を筆頭に、各学部、各研究科から16名もの兼任教員を配置していただきました。西条市で継続した研究活動を行っていただいているなど、西条市に縁のある先生を中心に構成していただくご配慮もあり、心強く感じています。また、当日開催された記念シンポジウムでは、仁科弘重理事・副学長以下10名の先生方が登壇され、これまでの西条市との関わりや今後の展望について講演いただきました。高大（高校と大学）連携活動、修士課程設置、産学官（産業・高等教育研究機関・行政機関）連携、農業の6次産業化支援、広域観光と文化資源マネジメントなどです。多様なテーマや大学院の設置など「夢」が膨らむ話ばかりです。

今後、4月に新設された社会共創学部を中心に、愛媛大学の多くの学生が当センターを利用することになります。若者のにぎやかな声や豊かな感性で西条市を大いに盛り上げてくれることでしょう。多様なフィールドで研究を進めていただき、豊かな知見を身に付けてもらいたいと思います。

七夕にちなんで願い事をするならば、その学生の皆さんには、ぜひ西条市で就職していただき、西条市の発展のため、大いに活躍していただきたいものです。天の川に架かる橋は一日ですが、今回できた架け橋は、今後末永く西条市を含む東予圏域の活性化を力強く支えていってくださることでしょう。



愛媛大学の太橋裕一学長と共に看板を上掲

## 「千の風になって」ゆかりのまちづくりを推進しています

### 手紙募集に1,445通！ 連携市町とは「交流・協力」協定を締結

市では今年3月から6月にかけて、第3回目となる「千の風になったあなたへ贈る手紙」の募集を行い、海外を含め、全47都道府県から1,445通の応募がありました。前回の1,340通を上回る応募をいただき、ありがとうございました。

今後は、1次・2次・最終にわたっての選考を行い、来年3月には表彰イベントを行う予定です。

また、7月24日には北海道七飯町にて、「千の風になって」ゆかりのまちづくりの連携市町である七飯町・新潟市・西条市で「千の風になって」交流・協力に関する協定を締結しました。この協定は、既に連携協力しながら展開している各種事業を今後さらに推進し、文化芸術の交流にとどまらず、より包括的な相互協力に結びつけることを目的とするもので、「千の風になって」の訳詞・作曲家の新井満さん立ち合いのもと、関係3市町の長による調印が行われました。

問合せ 市庁舎本館 総合政策課 TEL0897-52-1460



▲国内外から届いた多くの手紙



▲北海道七飯町での協定締結